



1

2017
Collection Exhibition III
"Vibrant forms"

躍動するカタチ

カタチ



2



3

2017 コレクション展 III

【前期】8/4(金) - 9/5(火) 【後期】9/7(木) - 10/3(火)

◎9月6日(水)は展示替えのため休展 ◎作品は一部展示替えを行います

[開館時間] 10:00 - 19:00 ※金曜日・土曜日は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)

[観覧料] 一般300(250)円 / 大学生・高校生200(150)円 **中学生以下は無料**

※()内は20名以上の団体料金 ※高校生は土曜日に観覧する場合は無料 ※県内の小学・中学・高校生(これらに準ずる者を含む)とその引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧する場合は無料 ※大分県芸術文化友の会びびKOTOBUKI・TAKASAGO 無料、UME団体料金 ※障がい者手帳等をご提示の方とその付添人(1名)は無料

1. 宇治山哲平《弾む》1972年(部分) 2. 吉村益信《反物質：ライト・オン・メビウス》1968年 3. 生野祥雲齋《陽炎》1958年(前期のみ)

近 世以降現代にいたるまで、大分県からは数多くの優れた美術家が出ています。中でも南画の田能村竹田、日本画の福田平八郎、高山辰雄、洋画の宇治山哲平、彫刻の朝倉文夫、竹工芸の生野祥雲齋らは、わが国の美術に大きな足跡を残すとともに、いまなお幅広い人気を博す代表的な作家たちです。

大分県立美術館ではこうした豊かな大分の美術を、毎回テーマを設けたコレクション展を通して紹介します。今回は、「躍動するカタチ」をテーマに、生命力や動的な表現に富んだ作品の数々を展示します。日本の抽象表現を追求した宇治山哲平の長さ14mにもおよぶ大作《弾む》を中心に、作品からあふれ出るリズムやエネルギーをご堪能ください。



みどころピックアップ 宇治山哲平《弾む》

1972年、宇治山哲平が東京セントラル美術館での個展に際して制作した《弾む》は、俵屋宗達の《風神雷神図屏風》にインスピレーションを得て制作された作品といわれています。色鮮やかな幾何学的形態が、神々の発する気のごとく、力強く雅やかに宙を飛び交うさまをお楽しみ下さい。

ギャラリートーク

8月13日(日)、8月27日(日)、9月10日(日)、9月24日(日)

時間 | 13:30 - 14:30 会場 | 3階 コレクション展示会

※予約不要・要展覧会観覧券



8

4. 宇治山哲平《弾む》1972年(部分)
5. 田能村竹田《猿猴挂樹図》文政後期頃(後期のみ)
6. 田崎徹《生-1》1995年
7. 福田平八郎《鮎》1935年(寄託品)
8. バーナード・リーチ《魚絵鉢》1954年

次回コレクション展 > 10月6日(金)～12月5日(火) コレクション展示室
コレクション展Ⅳ 自然への憧憬

開催中の企画展(共催展) > 7月7日(金)～9月3日(日) 1階 展示室A
ジブリの大博覧会 ～ナウシカからマーニーまで～

開催中の企画展 > 8月22日(火)～8月27日(日) 3階 展示室B
第35回 高山辰雄賞ジュニア美術展

次回開催企画展 > 11月17日(金)～2018年1月21日(日) 1階 展示室A
20世紀の総合芸術家 イサム・ノグチ展 -彫刻から身体・庭へ-



5



6



7

OPAM 大分県立美術館
Oita Prefectural Art Museum



〒870-0036 大分市寿町2番1号 TEL:097-533-4500 FAX:097-533-4567 <http://www.opam.jp>
JR大分駅 府内中央口(北口)から徒歩15分/大分ICから車で10分